

令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
調査結果の概要

令和6年度全国学力・学習状況調査の調査結果の概要について

1 調査の概要

- (1) 実施日 令和6年4月18日(木)
- (2) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒
- (3) 調査内容
 - 教科に関する調査 小学校(国語、算数) 中学校(国語、数学)
調査問題では、下記①と②を一体的に問うこととする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
 出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
 - 質問調査
 - ・ 児童生徒に対する調査
 - ・ 学校に対する調査
- (4) 参加状況(全国で公立小学校18,468校、公立中学校9,268校が4月18日に調査を実施)
○ 本県(公立)

	実施校
小学校	178
中学校	93
義務教育学校(前期課程)	9
義務教育学校(後期課程)	7
特別支援学校(小学部)	2
特別支援学校(中学部)	1

2 教科に関する調査結果の概要

国語、算数・数学の全国、奈良県は公立の結果を示しています。
(上段：平均正答数 下段：平均正答率(%))

	令和6年度			
	国語		算数・数学	
	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	9.5/14 67.7	9.3/14 67	10.1/16 63.4	10.1/16 63
中学校	8.7/15 58.1	8.4/15 56	8.4/16 52.5	8.3/16 52

	令和5年度			
	国語		算数・数学	
	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	9.4/14 67.2	9.0/14 65	10.0/16 62.5	9.9/16 62
中学校	10.5/15 69.8	10.0/15 67	7.6/15 51.0	7.4/15 50

※平成29年度から、国からの各都道府県の平均正答率の提供が整数値となったため、奈良県の平均正答率は整数値で示しています。

小学校においては、
国語の調査において、全国平均正答数を0.2ポイント下回っている。
算数の調査において、全国平均正答数とほぼ同じとなっている。

中学校においては、
国語の調査において、全国平均正答数を0.3ポイント下回っている。
数学の調査において、全国平均正答数を0.1ポイント下回っている。

3 今後の本県での取組

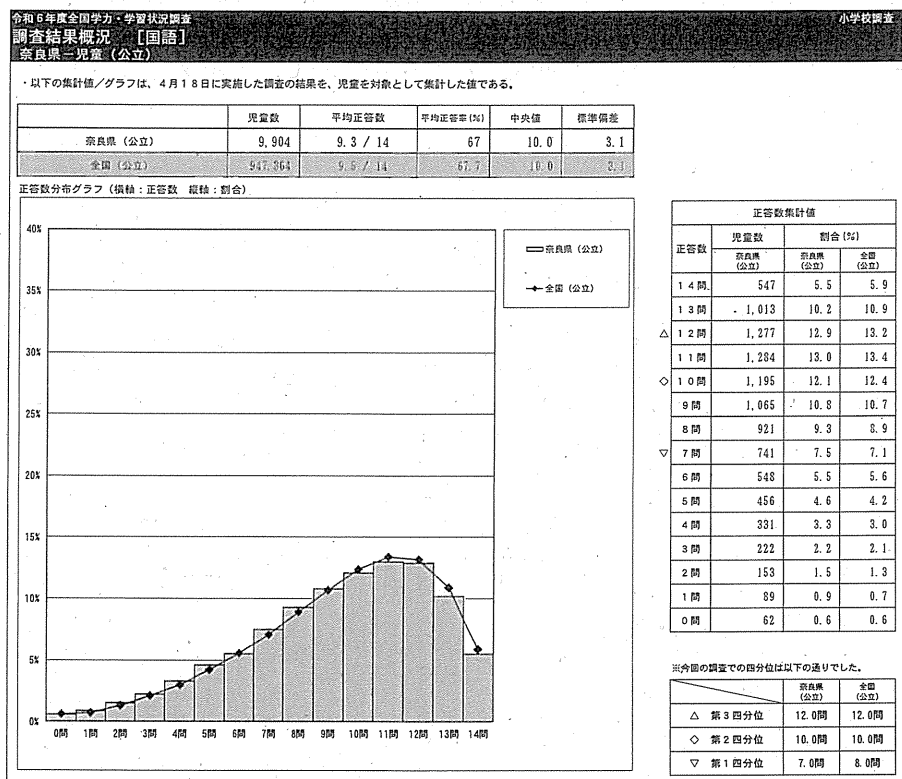
- ・全国学力・学習状況調査の結果を活用した指導改善について、8月下旬に市町村教育委員会教育長を対象に、9月に市町村教育委員会担当者を対象に説明会を実施する。また、11月に義務教育諸学校教員を対象に、大学教授等の有識者による講演を含めた説明会を実施する。
- ・県内小・中学校16校において取り組んでいる「学ぶ力育成実践事業」について、2月に研究成果等の報告会を実施する。
- ・教科等研究会と連携し、教員等の指導力向上に資する研修会等を実施する。

○ 小学校国語の調査結果

国語については、全国平均正答数は14問中9.3問で、本県の平均正答数は、全国に比べて0.2ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・事実と感想、意見との区別が明確でなく、自分の考えを伝えるための書き表し方の工夫

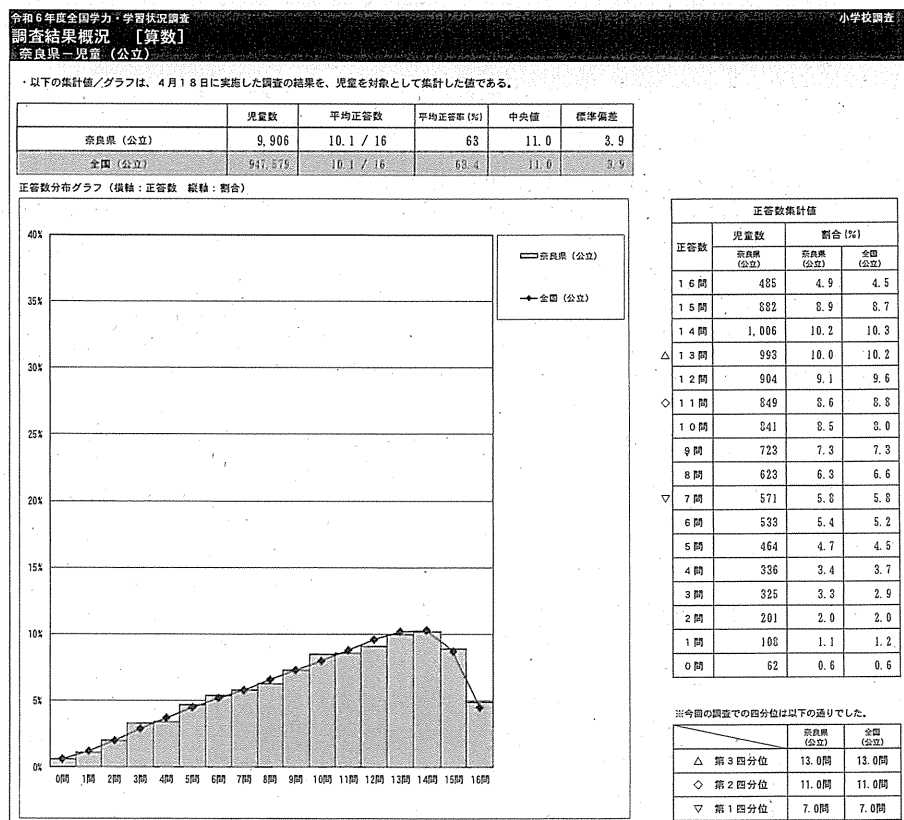


○ 小学校算数の調査結果

算数については、全国平均正答数は16問中10.1問で、本県の平均正答数は、全国とほぼ同じとなっている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・図形や単位量当たりの大きさ（速さなど）について、深い理解を伴う知識の習得やその活用

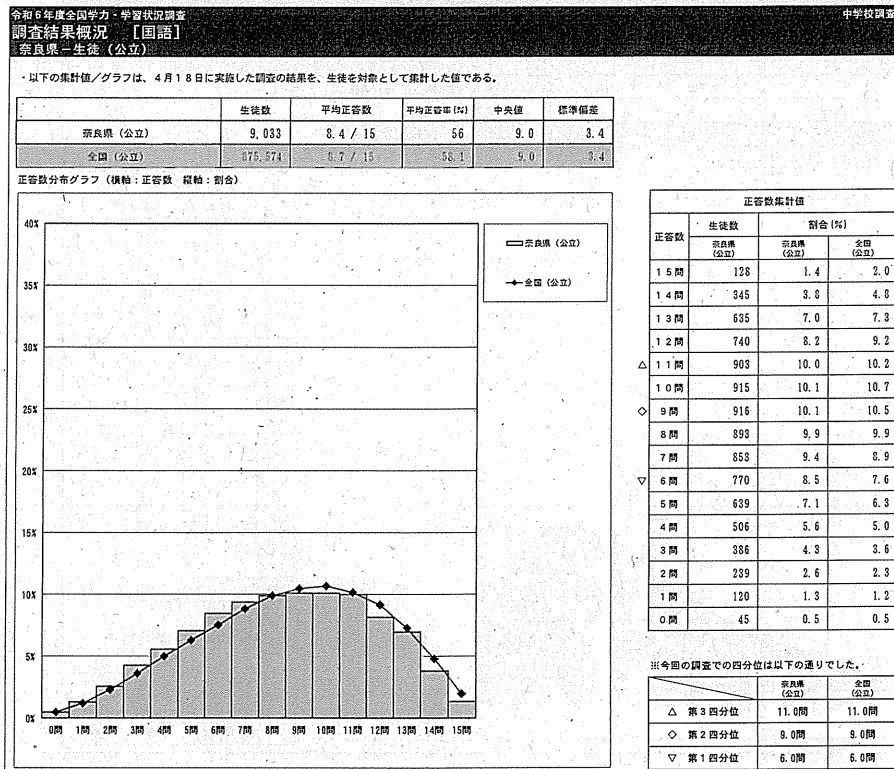


○ 中学校国語の調査結果

国語については、全国平均正答数は15問中8.4問で、本県の平均正答数は、全国に比べて0.3ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・自分の考えなどを記述していても、必要な情報を取り出すことや表現の効果を考えること

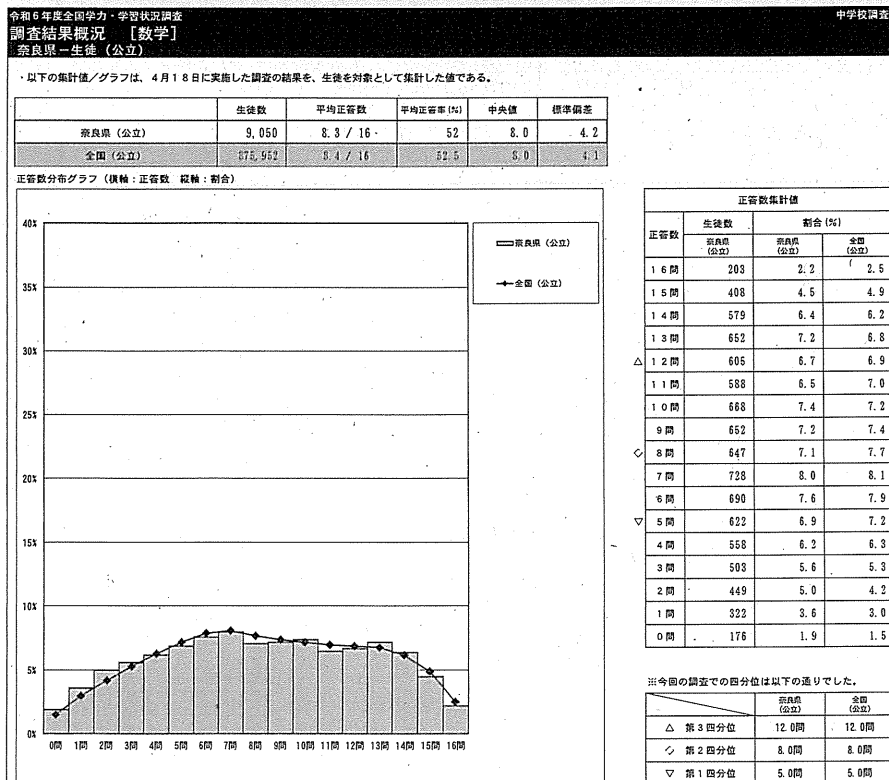


○ 中学校数学の調査結果

数学については、全国平均正答数は16問中8.3問で、本県の平均正答数は、全国に比べて0.1ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること



児童生徒質問調査の結果 (抜粋)

○学習に対する興味・関心等

 前回調査より上昇

質問		奈良県	全国	差	県R05	県R04	県R03	県H31
国語の勉強は好きですか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	60.4	62.0	-1.6	58.7	55.2	56.0	63.1
	中	59.7	64.3	-4.6	55.5	58.0	57.5	59.1
国語の勉強は大切だと思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	94.5	94.5	0.0	94.2	93.4	93.2	94.1
	中	93.4	93.9	-0.5	91.1	92.3	91.4	90.2
国語の授業の内容はよく分かりますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	86.4	86.3	0.1	84.7	83.3	83.3	86.8
	中	81.5	82.7	-1.2	78.1	80.9	79.7	78.3
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	92.7	93.2	-0.5	92.8	91.3	91.9	92.2
	中	89.1	90.6	-1.5	86.4	88.3	87.8	86.4
算数・数学の勉強は好きですか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	58.2	61.0	-2.8	58.1	59.7	63.7	65.8
	中	54.2	57.2	-3.0	54.1	54.2	53.5	53.6
算数・数学の勉強は大切だと思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	94.6	94.6	0.0	94.4	94.5	93.5	94.5
	中	85.0	87.2	-2.2	83.2	84.6	81.3	80.6
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	82.4	82.1	0.3	81.3	81.6	83.2	84.4
	中	76.3	75.7	0.6	75.9	77.1	73.6	74.6
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	94.3	94.1	0.2	93.8	93.3	92.2	93.6
	中	74.5	78.5	-4.0	72.4	73.6	71.8	71.4

○学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況

質問		奈良県	全国	差	県R05	県R04	県R03	県H31
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか (発表していた、どちらかといえば発表していた)	小	67.6	67.6	0.0	61.9	63.1	59.7	59.0
	中	60.3	64.8	-4.5	57.2	56.6	52.7	45.1
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	80.8	81.9	-1.1	76.5	73.4	75.3	74.3
	中	73.0	80.3	-7.3	72.9	72.5	76.4	69.3
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	76.2	79.6	-3.4	68.2	65.1	—	—
	中	61.7	75.4	-13.7	55.1	52.0	—	—
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	82.3	84.3	-2.0	80.6	77.2	78.6	—
	中	76.7	80.9	-4.2	71.7	71.0	71.4	—
学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	86.2	86.3	-0.1	—	—	—	—
	中	80.2	86.1	-5.9	—	—	—	—
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	78.9	80.8	-1.9	75.3	75.5	74.7	—
	中	70.9	77.9	-7.0	64.5	66.9	68.2	—
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	82.0	83.7	-1.7	—	—	—	—
	中	73.2	79.0	-5.8	—	—	—	—
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださっていると思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	87.6	87.9	-0.3	92.6	—	—	91.7
	中	81.6	84.9	-3.3	86.0	—	—	80.6
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	90.9	91.6	-0.7	—	—	—	—
	中	89.3	92.3	-3.0	—	—	—	—

○ICTを活用した学習状況

質問		奈良県	全国	差	県R05	県R04	県R03	県H31
前学年までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか (ほぼ毎日、週3回以上、週1回以上)	小	82.0	85.5	-3.5	87.9	84.5	—	—
	中	83.1	89.0	-5.9	84.5	74.8	—	—
ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる (とてもそう思う、そう思う)	小	83.8	85.5	-1.7	—	—	—	—
	中	75.6	80.2	-4.6	—	—	—	—
ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐに調べることができる (とてもそう思う、そう思う)	小	91.8	92.1	-0.3	—	—	—	—
	中	92.4	93.9	-1.5	—	—	—	—
ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる (とてもそう思う、そう思う)	小	85.6	86.0	-0.4	—	—	—	—
	中	79.5	82.4	-2.9	—	—	—	—
画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる (とてもそう思う、そう思う)	小	88.8	89.8	-1.0	—	—	—	—
	中	86.5	89.0	-2.5	—	—	—	—
ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる (とてもそう思う、そう思う)	小	77.2	79.2	-2.0	—	—	—	—
	中	71.8	77.7	-5.9	—	—	—	—
ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる (とてもそう思う、そう思う)	小	84.7	86.1	-1.4	—	—	—	—
	中	81.2	86.2	-5.0	—	—	—	—
ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる (とてもそう思う、そう思う)	小	87.3	87.1	0.2	—	—	—	—
	中	81.8	85.2	-3.4	—	—	—	—

○挑戦心、自己有用感、幸福感等に関する状況

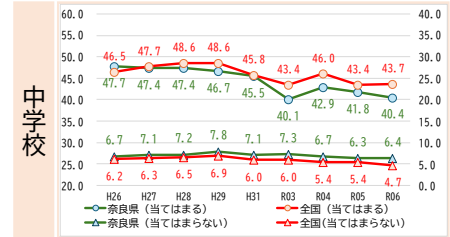
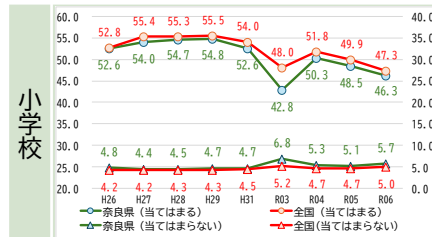
質問		奈良県	全国	差	県R05	県R04	県R03	県H31
自分には、よいところがあると思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	83.7	84.1	-0.4	83.0	77.9	74.4	79.8
	中	80.7	83.3	-2.6	77.9	73.5	71.6	71.2
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	91.0	89.9	1.1	89.8	87.3	—	84.3
	中	88.1	90.4	-2.3	85.4	83.2	—	78.0
将来の夢や目標を持っていますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	80.7	82.4	-1.7	79.7	78.5	78.7	83.5
	中	63.1	66.3	-3.2	62.6	65.7	64.5	68.8
人が困っているときは、進んで助けていますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	92.8	92.7	0.1	91.2	88.6	87.9	87.7
	中	87.9	90.1	-2.2	86.4	86.8	86.3	82.9
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	67.9	67.1	0.8	67.1	65.9	—	—
	中	64.5	67.5	-3.0	63.0	62.6	—	—
人の役に立つ人間になりたいと思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	96.0	95.9	0.1	96.1	95.7	95.7	96.0
	中	93.9	95.2	-1.3	93.8	94.6	93.9	93.6
学校に行くのは楽しいと思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	83.3	84.8	-1.5	83.7	84.4	80.0	84.4
	中	80.7	83.8	-3.1	80.8	80.0	78.1	80.8
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	75.2	75.8	-0.6	74.5	70.3	66.9	—
	中	70.7	76.2	-5.5	73.3	70.6	68.6	—
友達関係に満足していますか (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	91.6	91.1	0.5	90.5	—	—	—
	中	89.2	90.1	-0.9	88.6	—	—	—
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか (よくある、ときどきある)	小	92.1	91.7	0.4	91.0	—	—	—
	中	89.6	89.8	-0.2	87.4	—	—	—

1 児童生徒の学校適応（質問項目「学校に行くのは楽しいと思いますか」）に関する状況について

質問項目「学校に行くのは楽しいと思う」に対する回答状況及び平均正答率について

	小学校		中学校	
	人数（割合）	国・算 平均正答率	人数（割合）	国・数 平均正答率
当てはまる	4508 (46.6)	67.0	3581 (41.1)	55.4
どちらかといえば当てはまる	3597 (37.2)	64.8	3547 (40.7)	54.6
どちらかといえば当てはまらない	1040 (10.7)	61.8	1045 (12.0)	52.2
当てはまらない	532 (5.5)	58.9	539 (6.2)	47.3

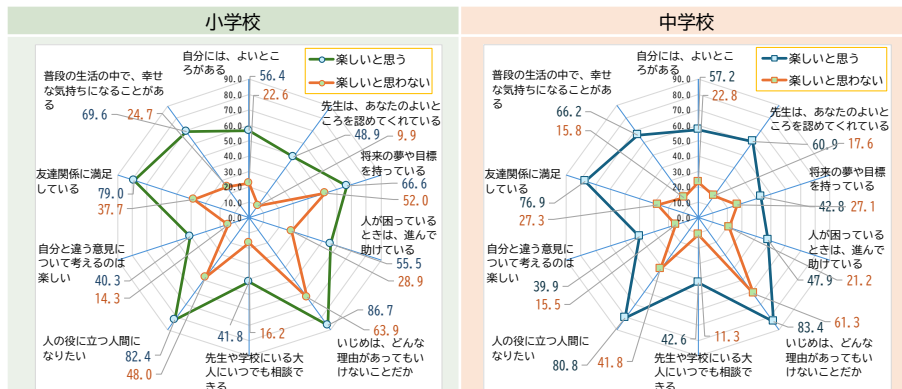
質問項目「学校に行くのは楽しいと思う」に「当てはまる」と回答した子どもと「当てはまらない」と回答した子どもの割合の経年変化



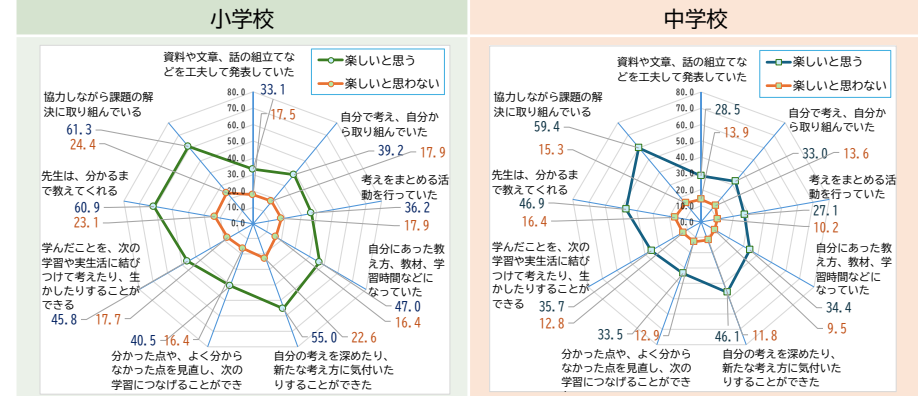
2 学校適応の回答状況と自己有用感等、学習への取組状況について

学校に行くのが楽しいと思う児童生徒と楽しいと思わない児童生徒の自己有用感や学習への取組状況について調べた。

自己有用感等に関する質問へ「当てはまる」と回答した児童生徒の割合



授業改善に関する取組状況に関する質問へ「当てはまる」と回答した児童生徒の割合

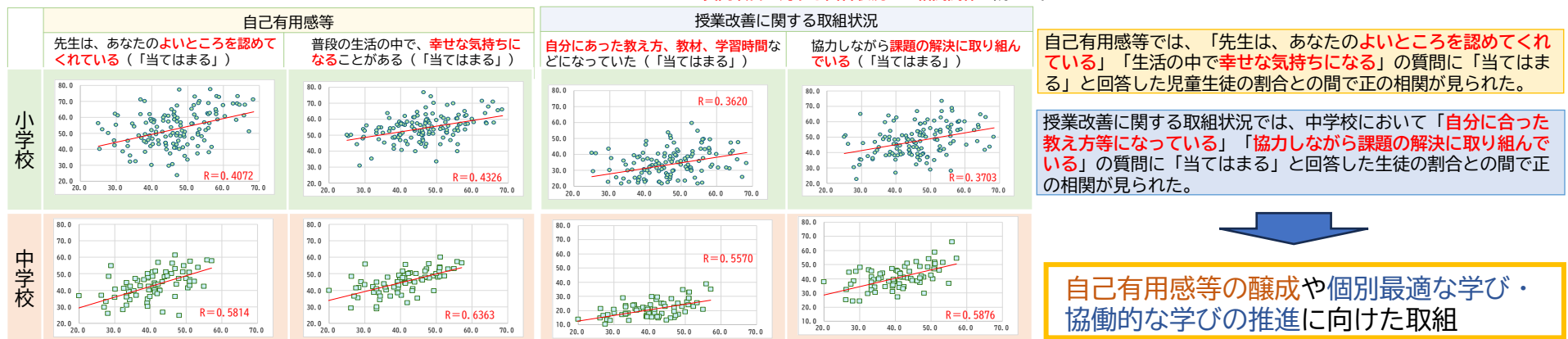


○小・中学校ともに「幸せな気持ちになることがある」における差が最も大きかった。
○自己有用感等の10項目のうち、小学校では「先生は、あなたのよいところを認めてくれる」、中学校では「先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」が最も低いポイントであった。

○小学校では「先生はわかるまで教えてくれる」、中学校では「協力しながら課題の解決に取り組んでいる」における差が大きかった。
○授業改善に関する取組状況の9項目のうち、小学校では「自分に合った教え方等になっていた」「次の学習につなげることができる」、中学校では「自分に合った教え方等になっていた」が最も低いポイントであった。

3 各学校における学校適応と自己有用感等との相関関係について

学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合と、自己有用感等において「楽しいと思う・思わない」で大きく差が見られた質問項目に対する回答状況との相関関係を調べた。



自己有用感等の醸成や個別最適な学び・協働的な学びの推進に向けた取組